

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2013年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 ウォーミングアップ・練習について

8月23日（金）～8月25日（日）の期間に、練習会場使用日程に示す時間帯で「15 練習会場の使用について」に基づき練習ができる（練習会場の競技役員の指示に従い練習が可能である）。

3 招集について

(1) 招集所は、NDソフトスタジアム山形・北側バックスタンドの裏側（掲揚台の北側）に設ける。

(2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、その種目の競技開始時刻を基準として、次のとおりとする。

種目	招集開始時刻（点呼開始時刻）	招集完了時刻（移動開始時刻）
トラック競技	30分前	15分前
跳躍競技（棒高跳を除く）	50分前	40分前
棒高跳 男子	80分前	70分前
棒高跳 女子	60分前	50分前
投てき競技（砲丸投を除く）	50分前	40分前
砲丸投	40分前	30分前

(3) 招集の方法

①競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ユニフォーム、ナンバーカード、スパイク、商標及び競技区域への持込物品などについて確認を受ける。代理人による点呼は認めない。

②出場種目を棄権する場合は招集開始時刻までに「棄権届」（招集所に準備）を招集所の競技者係に提出する。

③2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が「2種目同時出場届」（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に届け出る。

④招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

⑤リレー競技に出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」（招集所に準備）に記入し、招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出する。決勝においても、メンバー、オーダーの変更の有無にかかわらず提出する。

4 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは2枚配布する（競技規則第143条7・8）。

また、このほかに、種目によっては腰ナンバー標識と特別ナンバーカードを配布する。

腰ナンバー標識と特別ナンバーカードは招集所で配布し、フィニッシュ地点で回収する。

(2) 腰ナンバー標識について

①トラック競技に出場する競技者は、配布された腰ナンバー標識をショーツまたは下半身の左右（サイド中央から後方寄り）につける。

②4×100mリレーでは、最終走者は配布された腰ナンバー標識をつける。

4×400mリレーでは、最終走者のほか、第2走者と第3走者も腰ナンバー標識をつける。

(3) 特別ナンバーカードについて

①以下の種目では、胸と背に特別ナンバーカードを使用する。

男子：5000m、10000m、3000mSC、5000mW、4×400mR

女子：5000m、10000m、5000mW、4×400mR

5 競技場内への入退場について

- (1) 点呼終了後、招集完了時刻に競技者係の誘導で競技場内に入場する。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場する。なお、決勝において1位から8位の競技者は、表彰者控え所に誘導する。

6 競技の抽選及び番組編成について（レーン順、試技順）

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。
- (2) トラック競技の決勝のレーン順は、招集所の掲示板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする（競技規則第167条）。

7 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離走では競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④4×100mRの第2、第3、第4走者は各自用意したマーカー（粘着テープ）を使用することができる。レース終了後は第1、第2、第3走者がチームのマーカーを取り除くこと。
- ⑤4×400mRにおける第3、4走者は係員の指示に従い、第2曲走路入口（黄色旗）を通過した順序で、内側から並び待機すること。
- ⑥男女10000m、男女5000mWに制限時間を設け、制限時間内にラスト1周に入らなかった場合には競技を打ち切る。

10000m		5000mW	
男子35分	女子43分	男子27分	女子32分

- ⑦スタートはイングリッシュコマンドを使用する。不正スタートについては、競技規則第162条7の国内規則を適用する。

(2) フィールド競技について

- ①投てき競技の計測は光波測定器を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
 - ②走高跳を除く跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、走高跳の競技者は助走路内に各自の用意したマーカー（粘着テープ）を2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
 - ③棒高跳の競技者は、希望するアップライトの位置を招集所にある用紙に記入して招集完了時刻までに競技者係に提出する。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
 - ④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑤公式練習は、試技順に2回行う。
 - ⑥三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの位置に設置する。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない（競技規則第144条2（b））。競技場内に持ち込まれるバックの中身は招集所で確認される。
 - (4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色（不正スタート時は黄黒色）カード、除外は赤色（不正スタート時は赤黒色）カードを示すことによって競技者に知らされる。

8 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決定するまでは次のとおりとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m85/2m00	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45/1m60	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	3cm
棒高跳	男子	4m20	4m30	4m40	4m50	4m60	4m70	10cm
	女子	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cm

- (2) 棒高跳の公式練習では、ゴムバーを使用する。

9 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、用具リストにない投てき物の持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻までに、招集所の競技者係に申し出る。検定に合格した用具は一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとする。借り上げた用具は競技終了後、大会本部の役員・庶務係で返却する。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6）

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表はアナウンスで行う。
(2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内（予選は15分以内、決勝は30分以内）に競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。

12 表彰について

- (1) 各種目の1位から8位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。
(2) 各種目の1位の競技者には選手権章と賞状を、2位から8位の競技者には賞状を授与する。

13 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
(2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。
(2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、総務員（庶務担当）に連絡する。
(3) 競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
(4) 更衣についてはメインスタンド下室内の更衣室を利用することができる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
(5) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
(6) 届けられた遺失物については役員・庶務係で保管する。保管期間は8月25日（日）の競技会終了までとする。

- (7) 記録はその都度アナウンスで発表するが、競技場正面入り口付近の記録掲示板に、印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、役員・庶務係に500円を添えて申し込む。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出、展示は「競技会における広告及び展示物に関する規程」に基づく。
- なお、本競技場では、バックスタンドの最上段での掲出をお願いします。
- (10) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、役員・庶務係で指示する。また、棒高跳ポールの返送（有料）は、競技終了後、男子は24日の15:00まで、女子は25日の14:00まで、持参の上、役員・庶務係（正面入口付近テント）に申し出ること。
- (11) 提出書類は次のとおりとする。

提出書類	用意してある場所及び提出場所	提出する時刻
棄権届	招集所 競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所 競技者係	招集完了時刻1時間前まで
支柱移動申請書	招集所 競技者係	招集完了時刻まで
2種目同時出場届	招集所 競技者係	先に出場する種目の招集開始時刻まで
記録証明書交付願	役員・庶務係	各競技終了後随時（500円）

15 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

- (1) 練習は各個人及び監督の責任のもと、練習会場係の指示により、練習会場使用日程に示す時間帯で行い、事故防止に十分配慮すること。
- (2) 練習会場には選手・監督・コーチ以外は立ち入らないこと。
- (3) 投てき練習会場では危険が伴うので十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
- (4) トラック競技及びフィールド競技の練習において、代理人による順番待ちを禁止する。
- (5) 各練習会場のトラックにおいて、次の行為を禁止する。
- ①ミニハードルなどの練習用具をレーン上に設置して行う練習
 - ②チューブやロープ等でけん引する練習
 - ③逆走
 - ④ジョグ、準備運動、ドリル等の技術練習
 - ⑤急に減速したり、立ち止まったりする行為
 - ⑥不用意にレーンを横切る行為
- (6) NDソフトスタジアム山形及びサブグラウンドを用いての練習の際のトラック使用区分は、原則として以下のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意すること。

<NDソフトスタジアム山形のレーンの使用区分>

- ①周回1～2レーン……………800m以上の種目
 - ②周回3～7レーン……………100m～400m、リレーの種目
 - ③第1曲走路からバックストレートの8～9レーン……………400mハードル
 - ④ホームストレート（6～7レーン）……………スターティングブロック設置可
 - ⑤ホームストレート（8～9レーン）……………110mハードル・100mハードル
- ※ 2日目のホームストレートの使用区分は、競技種目に応じて変更する。

<サブグラウンドのレーンの使用区分>

- ①周回1～2レーン……………800m以上の種目
- ②周回3～4レーン……………100m～400m、リレーの種目
- ③第1曲走路からバックストレートの5～6レーン……………400mハードル
- ④ホームストレート（4～6レーン）……………スターティングブロック設置可
- ⑤ホームストレート（7～9レーン）……………110mハードル・100mハードル
- ⑥ジョギングは、トラック外側の芝生帯で行うこと。

※ 2日目のホームストレートの使用区分は、競技種目に応じて変更する。

東北陸上競技選手権大会 8月23日(金)～25日(日) 練習会場使用日程

NDソフトスタジアム山形 (主陸上競技場)

	8月23日(金)	8月24日(土)	8月25日(日)
棒高跳	12:00～16:00	7:30～9:00(男子) 男子競技終了～17:30(女子)	7:30～9:00(女子)
走高跳	12:00～16:00	7:30～9:00	
トラック競技	12:00～16:00	7:30～9:00	7:30～8:50

サブグラウンド

8月23日(金)	8月24日(土)	8月25日(日)
11:00～17:00	7:30～17:30	7:30～14:30

※24日の走高跳の練習は、サブグラウンドで行うこともできる。

※走幅跳・三段跳の練習は、サブグラウンドで行う。

※投てき競技については、「投てき競技練習会場及び日程」を参照のこと。

投てき競技練習会場及び日程

	8月23日(金)			8月24日(土)		8月25日(日)	
	サブグラウンド		投てき練習場=運動広場	サブグラウンド		サブグラウンド	
7:00							
:30				7:30 男子円盤投		7:30 女子 砲丸投	7:30 男子やり投
8:00				8:30			8:30
:30							
9:00				8:30 女子円盤投		9:10	
:30							9:00 女子やり投
10:00				10:30			10:30
:30							
11:00						10:00 男子 砲丸投	
:30	11:30	11:30	11:30	11:00	11:00	11:40	
12:00	男	男	男	男			
:30			男女 円盤 投				
13:00	女	女		女			
:30				砲 丸		12:30 女子 ハンマー投	
14:00	砲	や	14:00				
:30						14:30	
15:00	丸	り	14:00 ハ男 ン女 マ ー 投	丸 投	り 投		
:30							
16:00				16:30	16:30		
:30	16:30	16:30					
17:00							

NDソフトスタジアム山形 投てき器具一覧 2013.07 現在

男子やり (800g)

品名	数量
ニ シ スーパーⅡ-90(シルバー)	3
ニ シ スーパー80-90(黄)	4
ニ シ ロング60-70(青)	4
ニ シ ミディアム50-60(クリーム)	1
ニ シ シュプリューム90(白)	1
サンドビック スーパーエリート80(白)	1
サンドビック チャンピオン(オレンジ)	1
ヘルドノバⅡ(シルバー)	2
ヘルドノバⅢ(シルバー)	2
アポ ローサー90(オレンジ)	1
ノルデック マスター70(青)	1
ノルデック スーパーエリート80(白)	1
ノルデック スーパーエリート90(白)	1
エバーニュー(シルバー)	1
アポ ローサー UPTO70(黄緑)	4
合計	28

女子やり(600g)

品名	数量
ニ シ ミディアムDR30-45(赤紫)	2
ニ シ ロングDR45-55(青)	4
ニ シ スーパーDR55-65	3
ノルデック ダイアナ50(ピンク)	1
ノルデック ダイアナ60(橙)	1
ノルデック ダイアナ70(橙)	1
ノルデック ダイアナ80(橙)	1
ヘルドカスタムⅡ(紫)	1
ヘルドカスタムⅢ(紫)	1
アポ ローサー70(オレンジ)	1
タイル ウインド(ゴールド)	1
合計	17

ハンマー (一般男子用 7,260g)

品名	数量
ニ シ ダクタイル製(赤)φ116.5mm	12
ニ シ タングステン(オレンジ)φ110	5
合計	17

ハンマー (女子用 4.0g)

品名	数量
ニ シ 鉄製(ピンク)φ102mm	10
ニ シ ダクタイル製(水)φ95mm	2
合計	12

円盤 (一般男子用 2.0kg)

品名	数量
ニ シ スーパー(黒)	6
ニ シ ウッド(水)	7
ギル(水)	4
ベルグ(茶)	4
ニュートップ(茶)	1
合計	22

円盤(一般女子用 1.0kg)

品名	数量
ニ シ スーパー(黒)	6
ニ シ ウッド(水)	2
ギル(水)	1
ベルグ(茶)	4
合計	13

砲丸 (一般男子用 7,260kg)

品名	数量
ニ シ 真鍮製φ120mm	3
ニ シ 鉄製φ125.5mm	11
合計	14

砲丸(女子・中学男子用 4.0g)

品名	数量
ニ シ 真鍮製φ99mm	1
ニ シ 鉄製φ103mm	16
合計	17

◇ 救 急 医 療 機 関

天童市民病院

天童市駅西 5-2-1

TEL 023-654-2511

天童温泉篠田病院

天童市鎌田 1-6-46

TEL 023-653-5711

吉岡病院

天童市東本町 3-5-21

TEL 023-654-1188